【発行】熊本市 都市建設局 都市政策部 都市デザイン課 ☎ (096) 328-2508

## 第3回ワークショップを開催しました。

■日 時 令和5年3月24日(金)18:30~20:30

■ 会 場 国際交流会館 4階 第3会議室

前回のふりかえり▶

■ 参加者 18 名

■ ワーク ● 前回のふりかえり

● みなさんからいただいた大切にしたい木の紹介

● グループワーク 「熊本市の景観の未来を考えよう」

テーマ 1 熊本城のある景観を守り活かすには

テーマ② 普段の暮らしに身近な地域景観のつくり方

## 普段の暮らしに身近な 地域景観のつくり方

グループワークに入る前に、個人で、地域でできる景観まちづくりの取組みについて整理しました。 また、地域拠点での取り組みとして、子飼商店街や健軍町での実際の活動を紹介しました。



○家のまわりをきれいにする

- ○まちのマナーを守る
- ○花や木で彩りを添える
- ○室外機等を緑や自然素材で囲む
- ○地域のイベントに出かける
- ○建物の形や色をまわりと合わせる



○道路や公園をきれいにする

- 〇古いものを大切に守る
- ○まちなみの約束事を決める
- ○景観を活かしてにぎわいを演出する
- ○市の事業や制度を活用する

## グループワーク・講評

(ワークの詳細は別紙参照)

学校の先生方の参加が多いためか、子どもたちの話、景観教育の話が各グループで出ていた。私の専門である芸術分野の立場からは、景観を見る時に少し美的な視点が入ってくるとよいと思った。将来、大学で芸術を学ぼうという子が出てきて、さらには景観が職業として成立するようになると、経済も回り景観も良くなるのではないだろうか。



▲原田和典先生 (崇城大学)



▲田中智之先生 (熊本大学)

テーマ● 熊本城の中で、人を集める所と静かにできる所のゾーニングをすべきという意見が興味深かった。視点場を点だけではなく線(ビスタライン)で捉え保全することも重要である。テーマ● 景観教育を観光や水など様々な分野と絡めるという観点が印象的。子どもたちと「楽しみながら学ぶ」ことが、結果的に良い地域景観を生み出すのではないだろうか。テーマ● フォトコンテストには色々なテーマが内在しているというのは重要な指摘だった。日常の中で、写真を撮ったり発信したりということを「定常化」することが、コンテストの参加者の増加やSNSの充実などに繋がると思う。

総括 全3回のワークショップの中で、話しがどんどん広がり深まっていった。これは、参加者の皆さんの意識の高さの現れであると感じた。景観は最終的に姿かたちであるが、基準で決めるのではなく、コミュニケーションで決めていく。コミュニケーションを豊かにすることが良い景観に繋がっていくと思う。今回のワークショップで、景観がコミュニケーションの種としても力があるということを実感した。

これから景観計画の改定作業を進めていくが、皆さんのご意見をどう反映していくか検討させていただく。年度末のお忙しい中ご参加いただき、感謝申し上げる。



▲星野裕司先生 (熊本大学)

## グループワーク・発表

最終回となる今回は、「熊本市の景観の未来を考えよう」と題して、3つのテーマについて話し合いました。 お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました!







#### ■好きな熊本城を眺める視点場

〈 〉は城域内の視点場

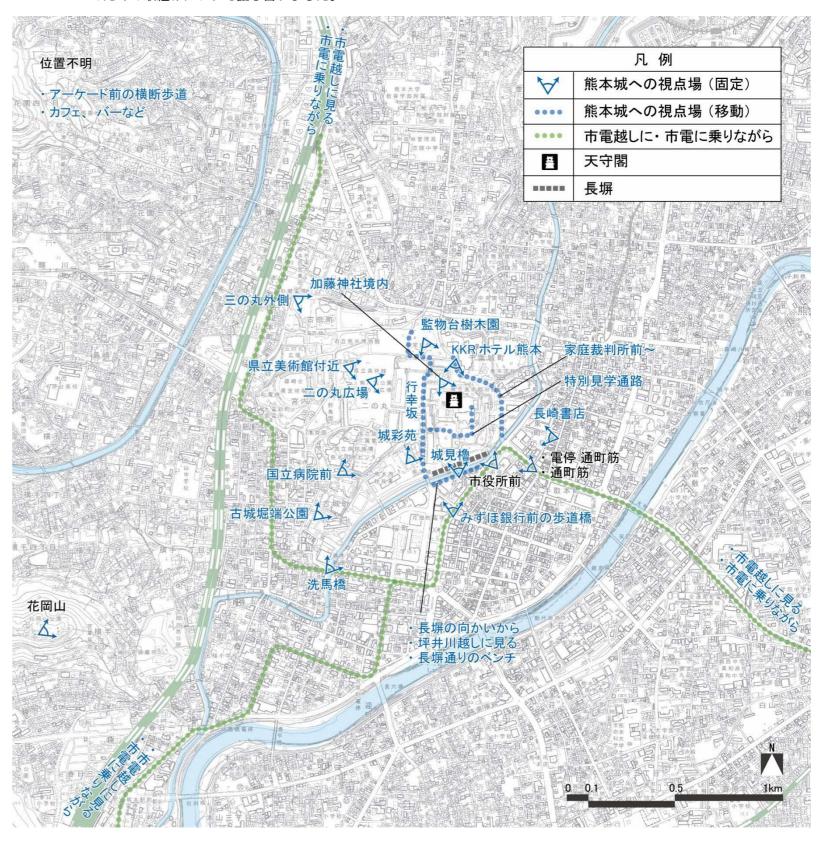
視対象	視点場	・:理由 〇:保全・改善のための取組み
天守閣	国立病院前(院内食堂)	・美しい!
	みずほ銀行前の歩道橋	
	洗馬橋	・橋の上から見通すことができる
	電停 通町筋	・通勤時、電車を待ちながら眺めていた
	通町筋	・街並みと天守閣が一体となって見える
		・ライトアップされた天守閣を見ることができる ○市役所となりの駐輪場が邪魔。見えないようにしたい
		○川は別となりの社無場が小原。兄んないようにしたい
	K K R ホテル熊本 	
	長崎書店	○長崎書店裏の時計台の保全 ○熊本ホテルキャッスル等、周囲の建築物が建て替わると風景が変わってしまうことから、沿道の建物と天守閣までの見通しのバランスを保つようにする必要がある
	〈加藤神社境内〉	
	〈二の丸広場〉	
天守閣・長塀	〈城彩苑〉	
天守閣·石垣	〈県立美術館付近〉	
石垣	古城堀端公園	・時代による石垣の変遷を見ることができる
	三の丸外側	
	_	○武者返しと言われる所以を情報発信する
石垣·長塀	家庭裁判所前~	・バスに乗りながら眺めるのがよい
長塀	長塀の向かいから	
	坪井川越しに見る	・夏は涼しい、落ち着く
長塀・サクラ並木	市役所前	・サクラの咲く頃に見る長塀がよい
宇土櫓	〈熊本城特別見学通路〉	
サクラ並木 サクラ	〈行幸坂〉	○サクラの木の保全
	〈監物台樹木園〉	
熊本城(全体)	花岡山	
	市電越しに見る	・市電と天守閣のコンビネーションが熊本の街を象徴する景観だから
	市電に乗りながら	
	長塀通りのベンチ	・歩けるし、ゆっくりできる
	アーケード前の横断歩道	
	カフェ、バーなど	・夜、熊本城がきれいに見えるスポット
	城見櫓	・天守閣や長塀のライトアップ
	_	○熊本城への眺望確保のために、坪井川沿いの建物の高さを抑えられるとよい

#### ■保全方策等[全体]

- ○まっすぐ見通せる場所 (ビスタライン) は特に大切に守る!
- ○知る人ぞ知る視点場が多い ⇒ 城見ツアーを開催する(花見みたいに飲みながら)
- ○色彩や高さ、数値を定量的に示すより定性的とし、議論できる余地を!
- ○城全体の風景が大事。城の雰囲気がわかるような建物のボリュームのコントロール
- ○市民一人ひとりが視点場に行って検証するのは大変なため、3Dモデルを活用する
- ○色彩の調和を図るべき
- ○長塀の芝生を綺麗な状態に維持保全する
- ⇔人との関わりを増やし、もっと多くの人に知ってもらうために、活用することも大事
- ○開発等の際には、景観シミュレーションなどを実施し、熊本城への眺望に影響がないか検証する仕組みが必要

### テーマ ① 熊本城のある景観を守り活かすには

好きな熊本城を眺める視点場(見る場所)とその視対象(見る対象)について、各自発表していただき、その保全と改善のための取組みについて話し合いました。



■視点場のタイプ

◇まっすぐに見通せる(ビスタライン)◇じわじわ動きながら(徒歩・バス・電車から)

◇偶然の出会い(建物の隙間からひょっこり現れる)

5) ◇時間・季節限定の眺め

### テーマ② 普段の暮らしに身近な地域景観のつくり方

参加者のみなさんが実際に活動している内容や、活動上の課題・困りごとについて発表を行いました。 また、個人、地域、団体等で、新たにどのような取組みができそうか、話し合いました。

凡例 活動内容 意見・課題 新たな取組みアイデア

# 情報発信と普及啓発

テーマ 景観形成に向けた

### 景観教育

#### 景観まちづくり学習

- 〇日吉東小では、3 年生が景観まち づくり学習に取り組んでいる
- ○5年は「水」、6年は「観光」がテーマだがすべて景観に関係する
- ○さまざまな切り口から「景観」にア プローチすることが大切
- 〇子どもから地域や親に波及している
- ○市と小学校が連係した景観教育、 まちあるき
- ○タバコの吸い殻が多く、大人たち が景観を乱している実態がある ○子どもの公園の使い方が荒い

#### 景観教育のポイント

- ○「景観」という言葉が難しい。「景色」という言葉で理解する
- ○景色を切り取り、「しっかり見る」 ことで気づきがある
- ○学ぶ上で「楽しい」が大切
- ○景観を「好きになる」ことが大切
- ○風景が失われてしまう危機意識を 持つことで子どもが興味を持つ
- ○景観教育で使ったマップの作成に 子どもを関わらせたい

#### 遊びながら環境保全

- ○江津湖探検をしながら環境保全 ○ザリガニ取りにより、汚泥が撹拌 され水質改善につながる
- ○子どもの参加が少ないのが課題

## ボランティア団体

#### ボランティアによる清掃

○健軍川の清掃を行っている

○ゴミ袋を支給してほしい

### ▶地域コミュニティ

#### 自治会による維持管理

- ○南区の自治会では、公園や田んぼ のゴミ拾いを実施している
- ○水路の管理や掃除、点検が環境保 全と美化につながっている
- ○楽しいコミュニティをつくり、地域が一緒になった景観づくりの活動を進めていく必要がある
- ○景観づくりの取組みによって、人 と人との繋がりを生み出したい

#### 地区内での話し合い

- ○地域の魅力を集めて、それを抽象 化したうえで具体化してディスカ ッションする
- ○各地域で議論できる場を設ける ○地区ごとのルールづくり(外装の 色使いを決める)

## 商店街

#### ゴミ出しの取り決め

- 〇上通商店街では、商業用のゴミ袋 を通りに出さないという取り決め がある(カラス対策)
- ○治安向上のために、防犯カメラの 設置やゴミの清掃を行っている
- ○上通は居住者も多く治安がよい ○景観は治安に直結する。上通は歴 史と信頼の上で成り立っている

#### 美化・清掃活動

- ○商店街の清掃、看板パトロールを 行っている
- ○自衛隊通りの清掃(企業の社会貢献活動)等を実施している
- ○きれいにしてもすぐゴミを捨てられる(ツツジの花壇内など)

### 個人

#### 美化活動

- ○自宅+アルファ (家の前の道路など)の掃除
- ○ゴミ捨て場のゴミの整頓をしてくれる人がいたが、それが地域の習慣となった
- ⇒個人の行動が地域を動かす

#### 空き家の活用

- ○古民家に5年住んでいた(オーナーさんと文通して口説いた)
- 〇地域の人とのコミュニケーション につながった

### その他

- ○子飼商店街を維持するために、意 識的に商店街に行って、買い物し たり飲食したりしている
- ○普段いつもある景観がほっとする 景観
- ○いつも変わらない風景が大切 ○市民一人ひとりのマナーの向上が 必要
- ○推し写真をシェアする○景観に配慮したリフォームをする○校区のイベントに参加する

### 事業者

#### 社会貢献

- ○スポンサー花壇の維持管理、多年 性植物などの植栽を実施中
- ○花壇を荒らされたり、持ち帰られ たりする。荒らされないようにす るとモチベーションは上がる

### 行政

#### 情報の提供と発信

○長崎市で点群データを提供しているように、行政が民間事業者に景観を検討できる素材等を提供する ○地域にある様々な活動を景観のキーワードで繋いで紹介する

#### 体制づくり

- ○各行政区において景観担当を設置 する
- ○住宅の景観をアドバイスする担当 者を設ける

#### 地域別の方向づけ

- ○景観の趣向は人それぞれであることから、景観を良くするための意 思統一をしていく必要がある
- 〇地区の課題も解決していけるよう なプラットホームをつくる
- ○地域の大切なものを明確にする ○各地域のカラー(特徴)を出す
- ○歴史・文化等のキーワードでつなぐ

#### 役割分担

- ○市民に取組や活動を求めることは 難しいので、観光・ビジネスと絡め て取り組むべき
- ○家でできることと、行政でできる ことの役割分担を進める

#### ロゴマークの作成

- ○SDG s のような共通のマークをつ くることで、一人でも団体でも、仲 間意識が生まれる
- ○センスの良いデザインである必要がある

### 効果的な情報発信

- ○ターゲットに響く要素を盛り込む
- ○その気にならなくても情報が目に入る工夫 (情報を取りに行かなくてもいい)
- ○「いいね」の数で市 HP のトップ画面を飾れる!!
- ○誰に対して発信し、どういう行動に繋げたいかまで考えて、情報 発信するべき
- ○戦略的に行う必要があり、業務委託してもよいのではないか
- ○若い人は、有名人の発信なら見るかもしれない
- ○市の SNS が知られていない (紹介された SNS を知らなかった)
- OSNS の特徴に合わせた活用が必要。Twitter は情報拡散、Facebook はコミュニティづくりに長けている

### 既存媒体の見直し・工夫

- OLINE の市政だよりは、興味あるジャンルの情報が送られてくる
- 〇冊子だと簡単に捨てられてしまう可能性がある
- ○家でできる景観づくりを市政だよりで呼びかける
- ○市政だよりの表紙は、美しい景観写真(フォトコンテスト等)を 掲載する
- ○参考になる景観の事例をホームページで紹介する

### きっかけづくり

- ○星野先生のレクチャーで意識が変わった
- ○見方を変えるきっかけが必要
- ○誰にでもわかる優しい言葉で伝える⇒日々の幸せにつながる「気づき」を!

### 景観教育の推進

- ○子どもの頃から景観について学ぶ仕組みが必要
- ○景観教育、シンポジウム等を今後も積極的に実施して、人と人が 対面で直接伝えあうことが必要

### 愛着感の醸成

- ○まちへの愛着を高めていくための施策展開が必要
- ○身近な人と思いを共有していくことが必要

### 発信・発表の場の提供

- ○住んでいる人が住んでいる地域を良くしていけるように
- ○フォトコンテストは、色々なテーマで年に何度もやるのがいい
- ○フォトコンテストの応募者を 100 から 1000 にしたい
- ○小学生は TikTok、大学生はインスタグラム、中高年は Facebook を利用している。世代別に発信方法を変えるなど工夫が必要
- ○良い写真の撮り方講座を実施する
- 〇若い人は、賞品(県の物産品)ではなく「いいね!」の数が欲し いのでは?